

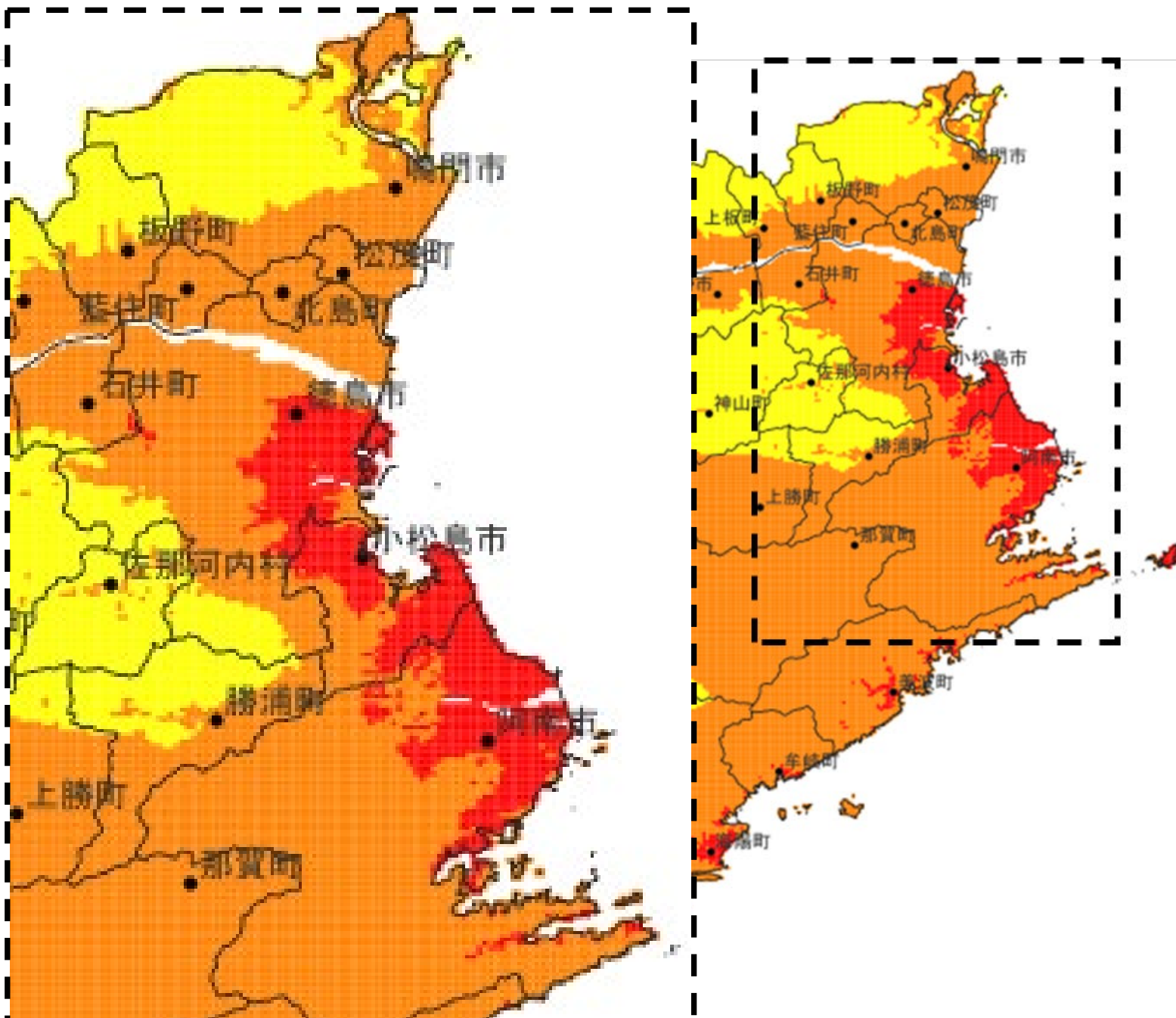
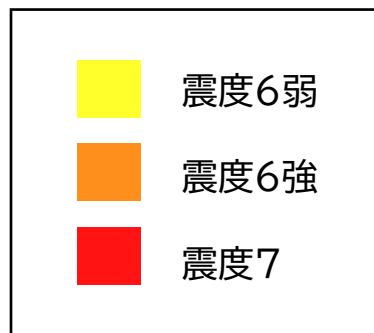
話題提供

南海トラフ地震に向けた 要配慮者利用施設の事業継続対策

徳島大学名誉教授・特命教授 中野 晋

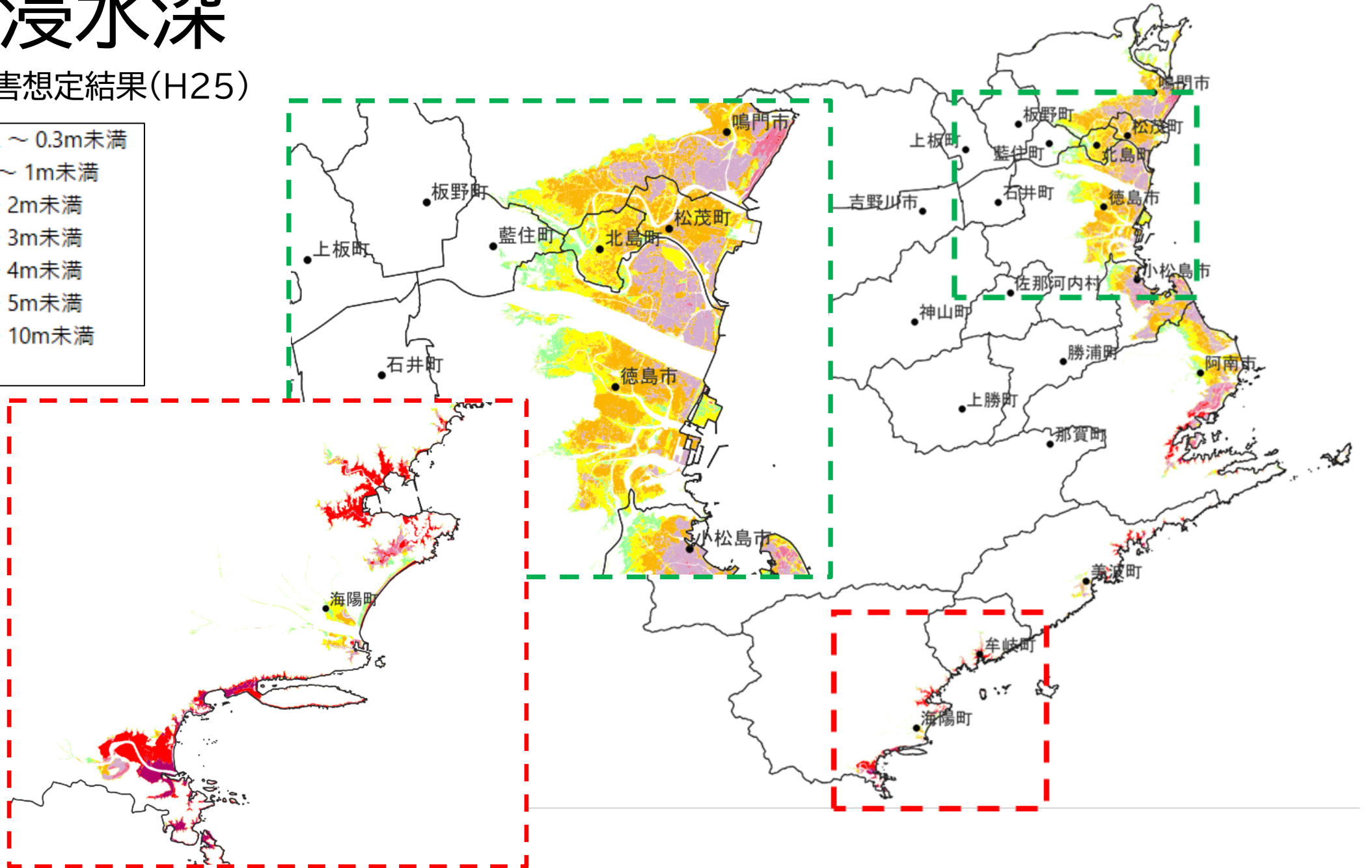
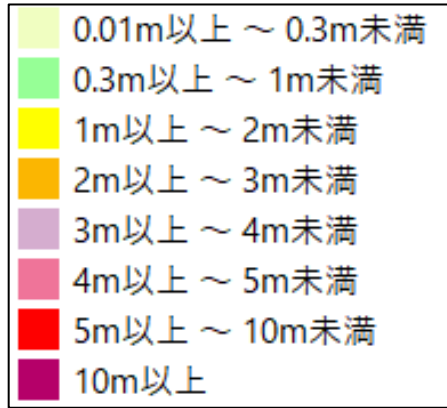
震度分布

徳島県被害想定結果(H25)



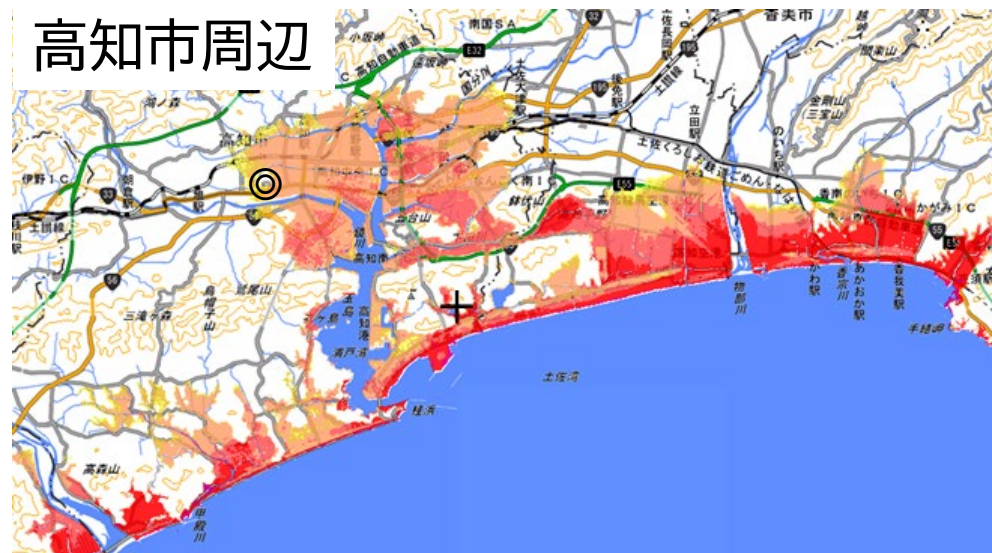
津波浸水深

徳島県被害想定結果(H25)



津波浸水エリアの他県県庁所在地との比較

高知市周辺

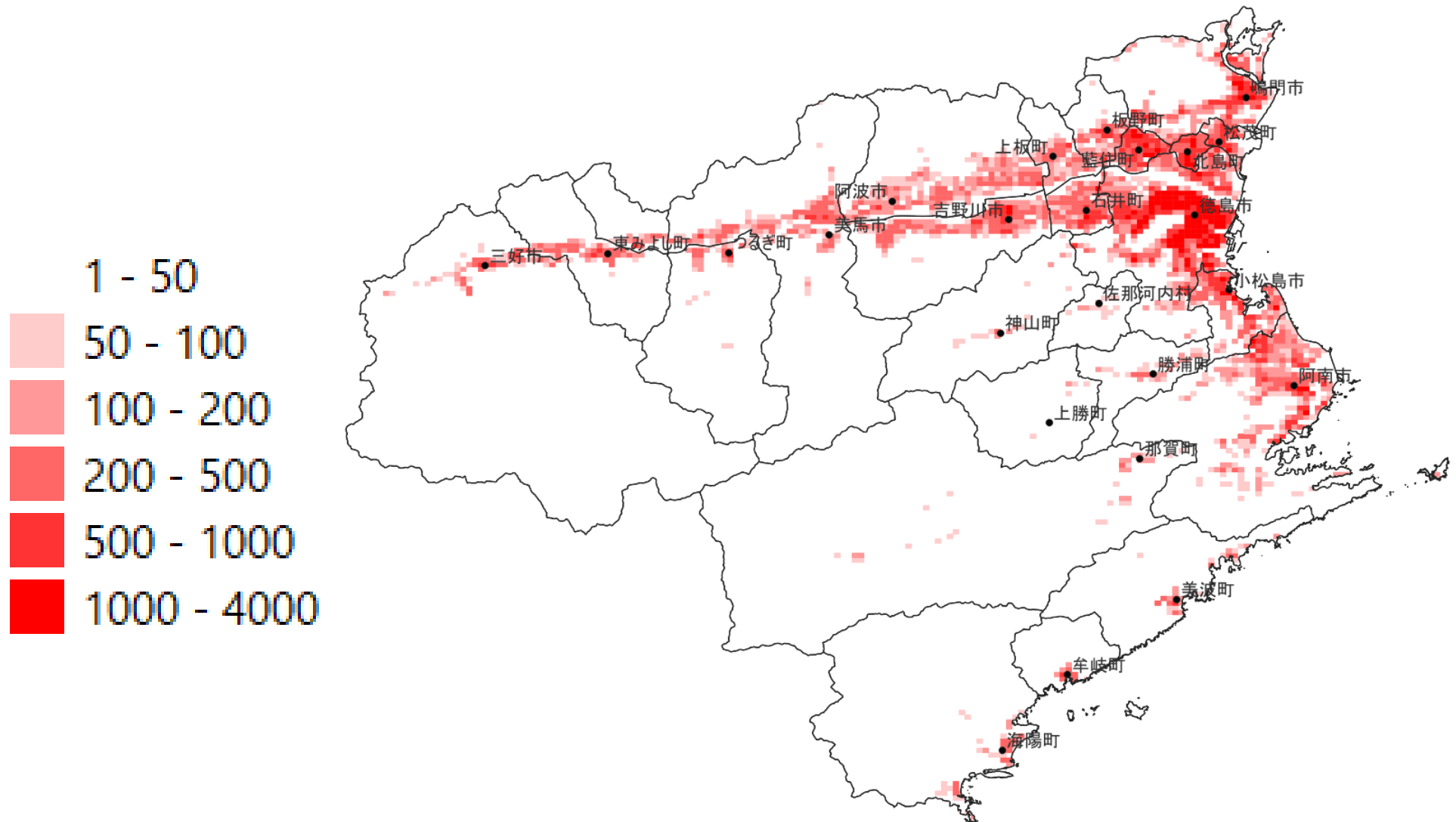


徳島市周辺

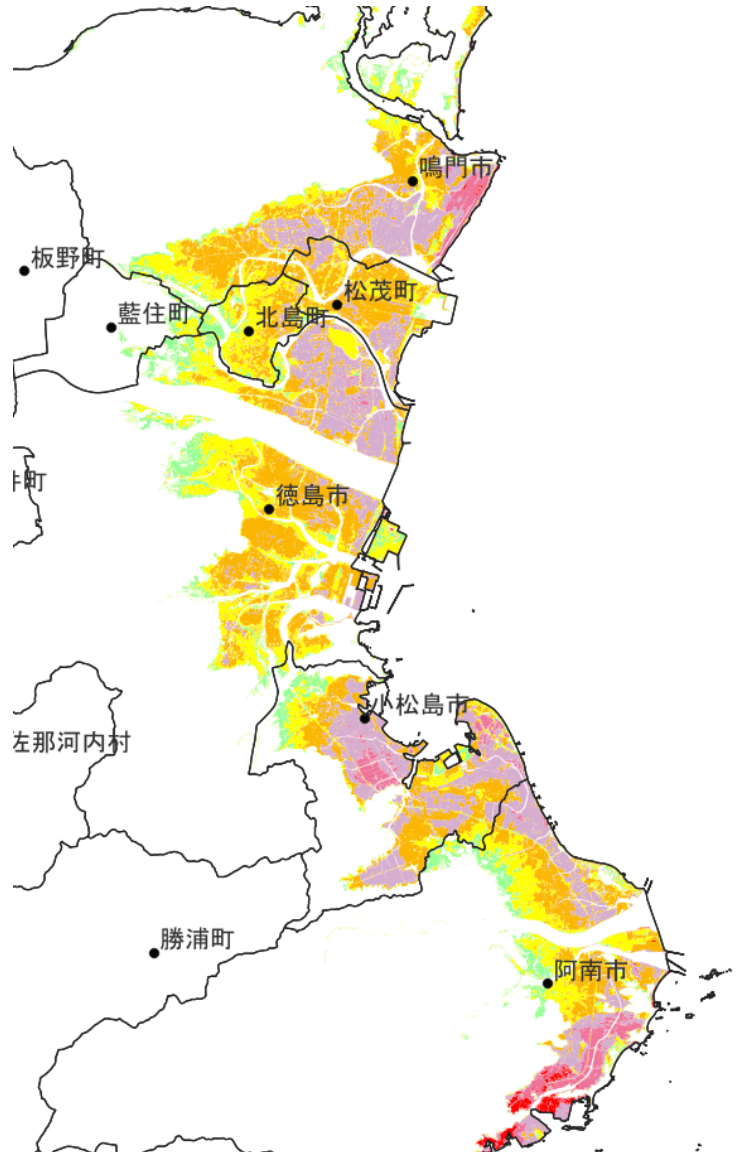


和歌山市周辺

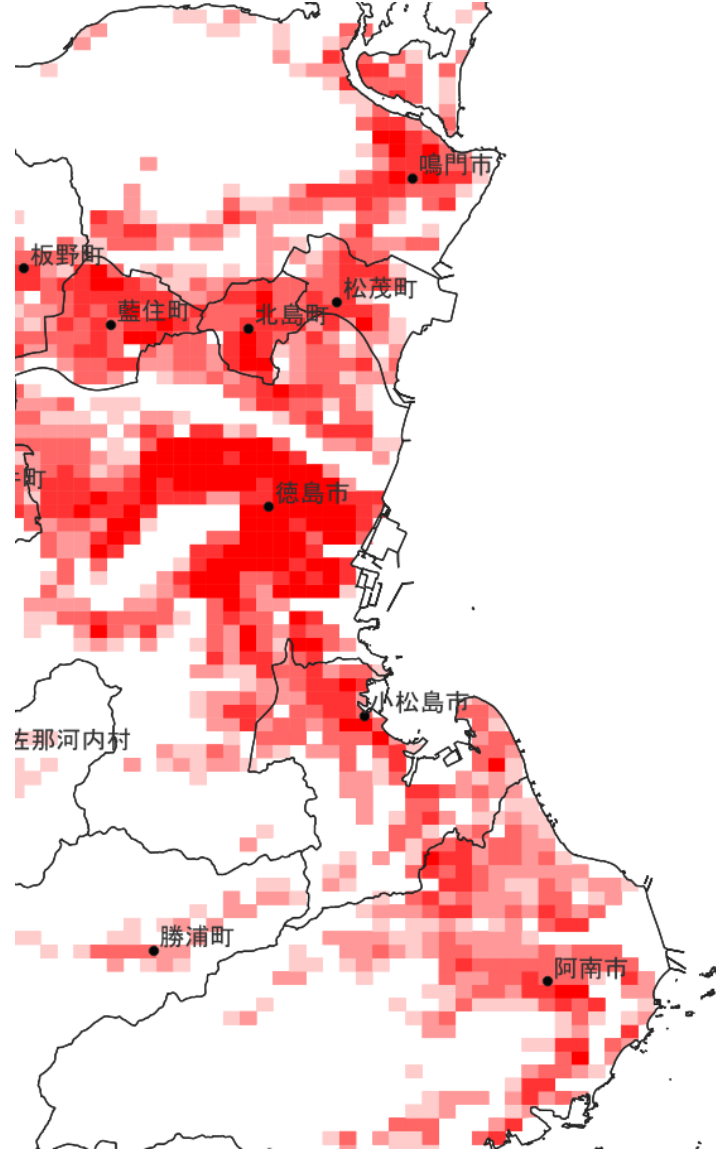
500mメッシュ人口(2020年国勢調査)



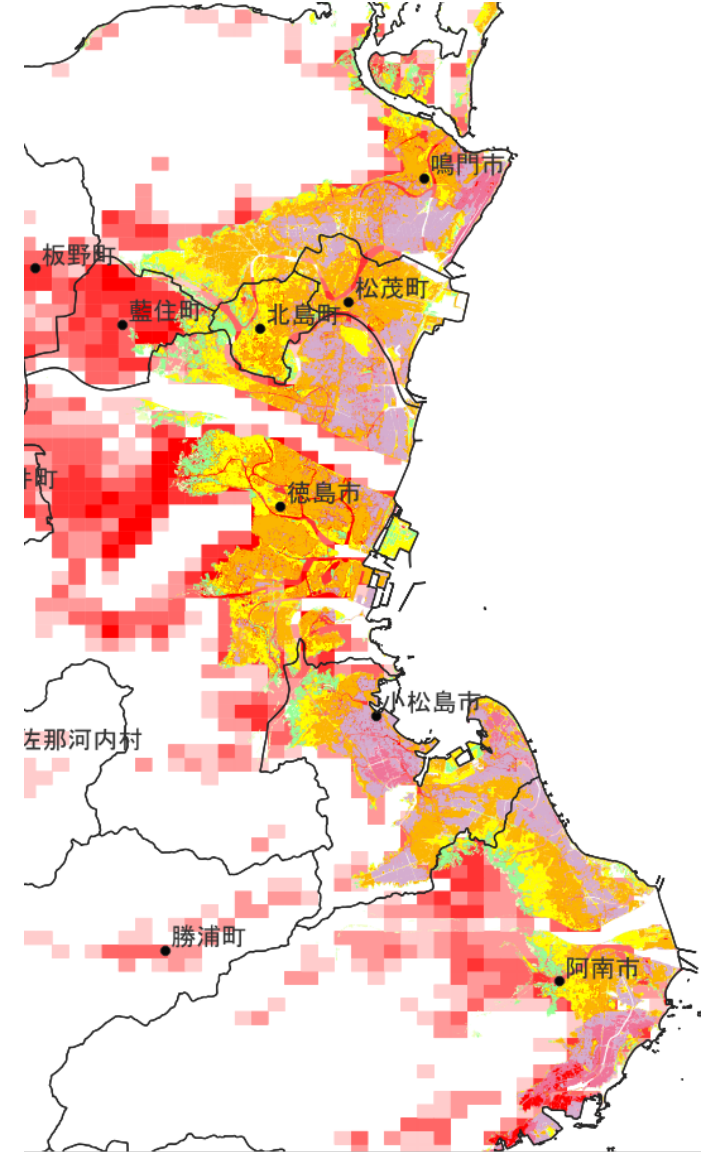
津波浸水深



500mメッシュ人口

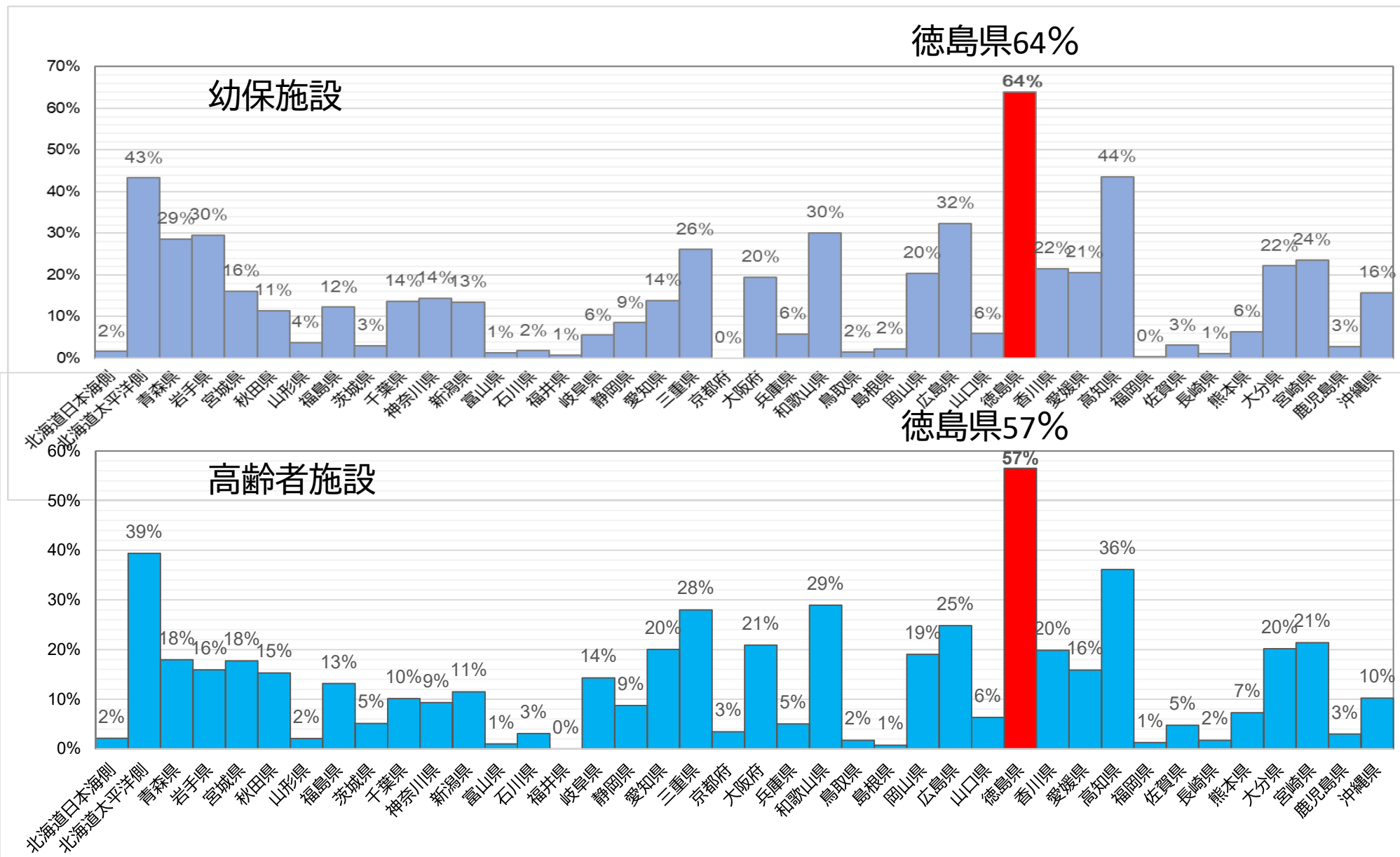


浸水エリアと人口集中



津波浸水エリアに位置する要配慮者施設

2023年2月現在



津波からの避難 岩手県山田町の福祉施設の事例から

□シーサイドかろ(老健施設, 入所96名, 通所47名職員48名)

- ✓ 浸水想定エリア外. 2階までは来ないと考えていた.
- ✓ 地震直後, ベッドのお年寄りを車椅子に. 寝たきりの人はベッドのまま, 2階通路へ移動し, 全員で避難広場へ移動. 万が一を考えて海洋センターへの移動を決定し, 車いすを押して避難開始した. デイケア利用者47人を送迎バスで搬送し, 入所者22名を搬送リレーで避難させたが, 15時25分頃, 津波が来襲し, **入所者74名, 職員14名が犠牲**になる.

□はまなす学園(障がい者施設, 入所+通所 41名, 職員15名)

- ✓ 41名をバスで海洋センターへ移動させた. その後, 職員5名がシーサイドかろの避難を支援



河北新報(2013年1月5日)の図に加筆

はまなす学園の復興

避難先を転々とし、福祉仮設住宅でスタート

	2011年	2012年	2013年	2014年
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・震災～4/10 県立青少年の家(1ヶ月間) (ノロウィルス、不安とストレス) ・4/11～旧ホテル海中海岸(3ヶ月間) ・7/15～グループホーム型福祉仮設住宅 (10人用2棟)へ転居 	(新しい環境に馴染めない人も、健康面は良好)	2年半	
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の疲労で4月には職員半数が退職 ・震災2週間後から派遣職員やボランティア (257名、7月末時点) 			
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・5月:福祉仮設住宅の土地確保 ・8月:国の補助金内定 ・再建地探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月:再建地確保 ・建設業者決まらず (資材・人件費高騰) ・地元住民説明会(反対あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月:建設業者入札 ・6月:施工開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:望みの園 はまなす として再開



県立青年の家



旧ホテル



グループホーム型福祉仮設



望みの園 はまなす

秒読みに入った南海トラフ地震に向けて何が できるか？

◎南海トラフ地震では
自助・共助・公助の総動員と**事前準備**をどこ
まで頑張れるかがカギ

◎行政機関, 企業や団体, 学校, 社会福祉施設,
住民一人一人が“レジリエンス力”(災害時の業務
継続力)を高めることはすぐにできる有効な手段
である。

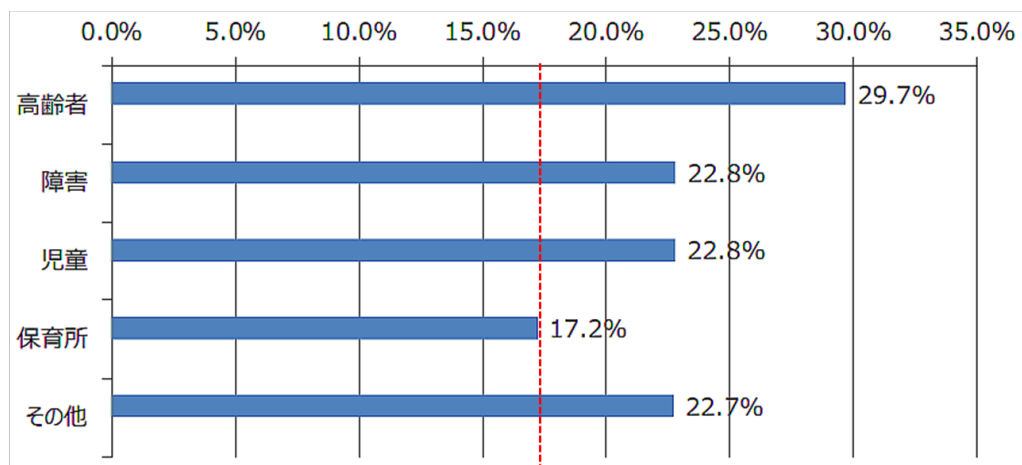
防災人材育成とBCP策定支援を通じた事前復興

- ◎自主防災リーダー(防災士)の養成 ➤ 防災士養成講座
大学生, 一般社会人, 自治体職員
(徳島県・小松島市・鳴門市・神山町)
- ◎災害・危機対応マネージャーの養成 ➤ 四国防災・危機管理プログラム
大学院生と社会人
- ◎事業所・団体のBCP策定支援
企業のBCP(県・商工労働部)
建設業BCP(国土交通省及び県・県土整備部)
学校のBCP(県教委に協力)
病院のBCP(医師会, 歯科医師会)
社会福祉施設のBCP(県経営者協議会, 県保育連)

社会福祉法人のBCP策定率100%を目指して

施設系と在宅系を問わず、2024年4月から、介護サービス事業所(児童系を除く)ではBCP策定が義務化されました。(2021年12月)

社会福祉施設のBCP策定率



出典:MS&ADインターリスク総研調査(令和2年3月)

一般企業のBCP策定率 17.6% (2021年5月時点、1万2,422社)

出典:帝国データバンク発表(令和3年5月)

徳島県内の社会福祉法人の
BCP策定率100%を目標に

徳島県社会福祉法人経営者協議会
徳島県社会福祉協議会
徳島大学
が共同でBCP策定研修会を開催

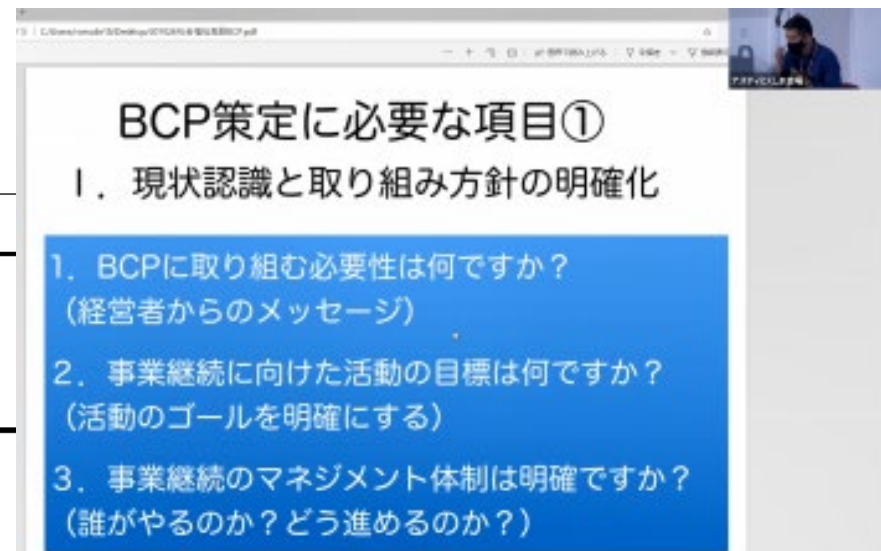
2020(R2)年度～ 継続中

現在はBCP策定が終わっていない児童福祉施設等を対象にした
初級(BCP策定を目的) 3~5回
中級(BCP運用を目的) 2回程度
を主にオンラインで開催

BCP研修会(初級)のカリキュラム

表-1 BCP 策定研修カリキュラム

回数・開催日	内容	提出文書
第1回 2020年10月26日	・過去の被災事例から学ぶ社会福祉施設のBCP ・BCP策定の目的 ・自施設のリスクと被害想定	・BCP方針の策定 ・BCP推進体制の構築 ・対象リスクと被害想定
第2回 2020年11月18日	・重要業務と目標復旧時間 ・必要な資源の確認 ・資源の代替手段の検討	・重要業務の選定 ・目標復旧時間の設定 ・必要な資源の抽出と代替策
第3回 2020年12月14日	・初動対応体制と手順 ・必要な資源の確認 ・災害時アクションカード	・初動対応体制の構築 ・初動対応フローの作成 ・災害時アクションカードの作成
第4回 2021年1月20日	・教育・訓練 ・必要な事前対策と課題の認識 ・見直しと継続的改善	・教育・訓練計画の策定 ・課題管理表の作成 ・見直し計画の策定
第5回 2021年2月19日	・各施設によるBCP発表会 ・課題の共有 ・連携可能性の検討	



第1回研修会の様子

BCP研修会(中級)の主な内容

- BCP訓練と研修の方法
- BCPチェックリストを用いたBCPの改善
- 災害時アクションカード作成実習
- マイ・タイムライン作成実習
- 会員法人でのBCP訓練・研修の事例報告
- 被災した法人やBCP運用法人からの事例報告

広域避難所設営訓練及び福祉避難所連携訓練



社会福祉法人におけるBCP(中級)研修会

BCPチェックリストと研修・訓練

福祉施設BCPチェックリスト

※評価欄：A-よくできている、B-ややできている、C-標準が必要、D-改善が必要

実施項目/チェックポイント	評価	人員	時期	頻度
1. 事業計画/BCPマネジメント研修				
1 BCPの最新方針を定め、法人として確認している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
2 事業運営で発生したBCP問題を把握し、改善している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
3 対策ごとの効果と負荷を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
4 事業運営で発生したBCP問題を把握するための連絡(BCP推進会議)を実施している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
5 BCP推進会議を定期的に開催することになっている	A- B- C- D-	〇	〇	〇
2. 見えるべき業務の現状と改善状況				
1 事業計画/BCP方針における具体的な改善を実施している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
2 最新の情報/アップデート/事業計画の変更/施設/法人本部、各施設、事業の状況(変化など)を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
3 予想される業務に関する課題と対策を大きくする機会を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
4 予想される業務の課題と対策を大きくする機会を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
5 予想される業務の課題と対策を大きくする機会を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
6 予想される業務のリスク/アゲンダ/課題と対策を大きくする機会を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
7 予想されるBCP/タイムライン(防災、防災、復旧)の課題と対策を大きくする機会を把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
8 予想される業務の交通の課題と業務への影響について把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇
9 主要な関係者の情報/状況/予想と業務への影響について把握している	A- B- C- D-	〇	〇	〇

読み合わせ

読み合わせ

グループワーク
「被害の洗い出し」、「何で困りそう？」

山積する課題 災害時要配慮者対策として

- 児童福祉系事業所のBCP策定（厚労省より推奨）
- 避難行動要配慮者（在宅）……個別避難計画作成の努力義務（R3）
- 訪問サービス事業所職員の安全対策
- 地震・津波発生時の初動対応の高度化 ……



避難訓練の高度化



長期ライフライン途絶に向けた備え